

Babel-Option `japanese`

version 1.0

Copyright ©1999 ING

概要

`japanese` パッケージは `babel` システムの日本語オプションを定義したマクロ集です。以下のファイルを含んでいます。

`japanese.ldf` : 日本語定義ファイル
`japanese.sty` : `japanese.ldf` を読み込むスタイルファイル
`japanese.drv` : `japanese.dtx` を文書化するためのドライバファイル
`langxmpl.dat` : `language.dat` のサンプル
`readme.tex` : このファイル
`sample.tex` : `\iflanguage` と `\selectlanguage` の使用例

`babel` システムには `japanese` オプションが定義されていません。そこで、`japanese.sty` とハイフネーションパターンを読み込んで「言語 `japanese`」を `babel` システムに追加します。

インストール

インストールは次の 2 段階です。

1. ハイフネーションパターンをフォーマットファイルに読み込む。
2. `japanese.sty` を読み込む。

日本語にはハイフネーション処理がありません。しかし、何らかのハイフネーションパターンをフォーマットファイルに読み込んでおかなければ、欧文単語の自動ハイフン処理は行われず `Overfull` になります。また、`\iflanguage` コマンドで、現在どの言語がアクティブなのかを調べることができません。

ここでは無難に、英語のハイフネーションパターンをフォーマットファイルに読み込んでおくことをお勧めします。なお、英語のハイフネーションパターンは、`LATEX` の配布パッケージに含まれている `hyphen.tex` をリネーム¹して

¹厳密に言えば、米語と英語のハイフネーションは異なります。ここでは便宜的に両者を同一のものとして扱っています。

読み込みます。langxmpl.dat を参照してください。(注意： \LaTeX の配布パッケージに含まれている hyphen.cfg を phyphen.cfg などのようにリネームしておいてください。)

japanese パッケージでは babel のオプションで `japanese` を指定するのではなく、`japanese.sty` を単独で読み込みます。この場合デフォルトの言語は日本語です。

```
\documentclass{jreport}
\usepackage[... ,english,...]{babel}
\usepackage{japanese}
\begin{document}
本文
\end{document}
```

備考

babel システムがサポートする他の言語と同じ使い方をするときは、`babel.sty` を修正します。`babel.sty` を `mybabel.sty` などにコピーして、それに次の 1 行を追加します。

```
\DeclareOption{japanese}{\input{japanese.1df}}
```

使い方の例を示します。デフォルトの言語は、オプションで最後に指定した言語になります。

```
\documentclass{jreport}
\usepackage[english,japanese,...]{mybabel}
\begin{document}
本文
\end{document}
```

ここで改変した `mybabel.sty` は個人的な使用に止めてください。

謝辞

Babel-Option `japanese` の作成に当って、バグフィックスや改良案をご提案いただいた方に感謝します。

bookworm <BYV01204>さんから、新しい言語を定義し、それに固有の言語番号を付けるマクロ `\addlanguage` の機能について、詳しい解説をいただきました。本パッケージでは採用していませんが、babel システム の言語切り替え機能を理解する上でたいへん参考になりました。

Tony <PAG01322>さんから、キャプションと日付の定義についてご提案をいただきました。

大石勝 <DZH00446>さんから、初版に含まれていた `\ifx\undefined` のバグをご指摘いただきました。

COPYRIGHT NOTICE

This package is free software that can be redistributed and/or modified under the terms of the L^AT_EX Project Public License as specified in the file `macros/latex/base/lppl.txt` on any CTAN archive server, such as <http://ring.wakwak.com/pub/text/CTAN/>.

変更履歴

日付の定義に初歩的なミスがあったのを修正しました。(2005 年 2 月)

2005 年 2 月

ING <t-ing@tbh.t-com.ne.jp>